

九州支部・中国四国支部激励会を開催

第44回九州支部激励会

11月21日 博多サンヒルズホテル

機動隊の獅子奮迅の活躍 会員の誇り

総勢約200名が参集した九州支部激励会。警察幹部をはじめ福岡県・佐賀県・長崎県の機動隊員と会員が参加し、交流を深めた。

最初に挨拶をした自見修真九州支部長は「九州の隊員の皆様は雪や寒さに慣れていないと思うが、能登半島地震への派遣で獅子奮迅の活躍をされた。人命救助などの成果を挙げられていることを聞き、誇りに感じた」と隊員を激励した。

続いて中村真一理事長は、佐賀県の国民スポーツ大会や大分県の全国豊かな海づくり大会など今年の警備事業を振り返り、「万全の体制を整え完遂された」と大規模警備や被災地への部隊出動が続いた九州の機動隊員に感謝を述べた。来賓の山田知裕九州管区警察



整列する機動隊員



奥沢顧問 住友本部長 山田局長 中村理事長 自見支部長

局長は、「能登半島地震では、九州管内全8県から広域緊急援助隊をはじめ各部隊が出動した。また天皇皇后両陛下のご来県に伴う警備警備で九州各県の機動隊員が中核を担った」と労い、「励ましの言葉をいただければ大きな活力となる」と会員に呼びかけた。

また、住友仁福岡警察本部長は、能登半島地震で福岡県警からは延べ300人の機動隊が派遣され、被災5日後に90代の女性を他県に誘導し、協力して救助したことを紹介。「連携して人命を救えた。本当に大きなこと」と振り返った。来賓の挨拶のあと、30年にわたり会員として励ます会を支えてきた福岡金属興業(株)に感謝状が贈られることが伝えられた。

乾杯の音頭をとった奥沢哲也顧問(日本製鉄(株)九州支店長)は、「1年間の機動隊の活躍を知ると、皆様がいかに様々な局面で我々国民を支えてくださっているかを知り、心の底から感謝します」と述べた。全員での乾杯後は懇親の時間

第43回 中国四国支部激励会

12月11日 ANAクラウンプラザホテル広島

6年ぶり 中国四国支部として初の激励会

コロナ禍などにより開催見送りが続き、6年ぶりとなった中国四国支部激励会。今回の激励会は、中国支部に四国を含めた中国四国支部として初めての開催となる。警察幹部、広島県警察及び中国四国管区の機動隊員、当会会員の総勢約300人が集まり盛大な会となった。

堀口悟史支部長は挨拶にて、「この6年間に様々な出来事があったが、広島県民として最も忘れ難いのがG7広島サミット。終了時には機動隊に対する地元住民による温かい見送りが自然発生的に広がった。当支部として啓蒙を続け、機動隊への

れ、発災5日後に90代の女性を他県に誘導し、協力して救助したことを紹介。「連携して人命を救えた。本当に大きなこと」と振り返った。来賓の挨拶のあと、30年にわたり会員として励ます会を支えてきた福岡金属興業(株)に感謝状が贈られることが伝えられた。



杉山顧問 江口中隊長



中村理事長 堀口支部長



感謝状の贈呈

ト。激励、懇親の実をあげていただきたいと挨拶した。

来賓の村田達哉中国四国管区警察局長は、6年間の主な警備事業を振り返り、「皆様からの熱い支援を賜りながらそれぞれの任務を完遂した。今後とも期待に応えられるよう一層努めていく」と述べた。

また、則包卓嗣広島県警察本部長は、広島県内の今後の警備情勢に触れる中で「平和記念式典は80年の節目を迎え、例年以上に注目を集めることが見込まれる。隊員は厳しい訓練を日々重ねている」と述べ、今後も変わらぬ支援を求めた。

会員継続30年の会員に贈られる永年功労賞では、神田健治氏、森澤大司氏への表彰があり、中村理事長から感謝状が贈られた。懇親に先立ち、広島県警察音楽隊「ザ・メイプルウィンズ」の27名が演奏を披露し、会場は大いに盛り上がった。



則包本部長 村田局長

--- 今月の賛助広告会員 ---

日本製鉄(株)
日鉄ステンレス(株)
(株)山文
東鋼業(株)
(株)廣澤精機製作所
日本製鉄(株)名古屋支店

乾杯の発声をした天谷世話人(太陽サカコー(株)社長は「苦しいこともあると思うが、励ます会を我が家だと思つてほしい」と述べた。

懇親の最後は全員で「この世を花にするために」を斉唱し、白田学世話人(日本製鉄(株)中国支店長)が「厳しい環境下ではあるが、引き続き国民を守っていただければ」と述べ、万歳三唱を行い、開会となった。



白田世話人 「この世を花にするために」を斉唱 天谷世話人

令和6年 全国殉職警察職員・ 警察協力殉難者 慰霊祭

新たに11柱の御霊を合祀

去る11月30日、警察庁と（公財）警察協会主催の慰霊祭がグランドアーク半蔵門にて行われた。式には石破茂内閣総理大臣、坂井学国家公安委員会委員長、露木康浩警察庁長官、遺族等約130人が出席。当会からは伊澤常任理事が参列した。

今回新たに合祀された殉職警察職員は5柱、また警察協力殉難者は6柱の計11柱であった。式では合計6281柱の御霊を慰めた。音楽隊の演奏のなか、儀仗隊員により、殉職警察職員・警察協力殉難者名簿が奉納された。

次いで露木長官は「5柱の警察職員は治安を維持するため旺盛な使命感を持って、災害への対応、犯罪捜査、術科訓練といった様々な警察活動に従事されていたなか、誠に残念ながら、志半ばにして職に殉ぜられた方々です。いずれの方々も世のため人のために、積極果敢に職務を遂行され、治安を維持する警察職員としての誇りと使命感を、身をもって示されました。また、6柱の警察協力殉難者におかれましては、自らの危難を顧みず、溺れていた人や踏切内などに取り残された人を救助しようとするなか、不幸にも命を落とされた方々です。他人の生命を救うために死力を尽くされた献身的な行いは、実に気高く、崇高な

ものでした。私たちは、御霊の尊い行いや身をもって示された御遺志をいつまでも深く心に刻み続けて参ります。全国警察が丸となって、国民の皆様への期待と信頼に応えるべく全力を尽くしていくことを、ここにお誓い申し上げます」と式辞を述べた。長官の式辞の後、参列者全員で黙とうを捧げた。

続いて石破首相は追悼の辞で、「皆様が身をもって示された誇り、高き精神と確固たる勇気は、私たちの誇りです。同時にかけがいのない御家族を失われた御遺族の皆様への深い悲しみに思いを致しますと、誠に痛恨の極みであり、哀惜の念に堪えません。御遺族の皆様に対し、衷心よりお悔やみ申し上げます。私たちは御霊の尊い御遺志を受け継ぎ、我が国で暮らす方々を犯罪や災害の脅威から守るため、不断に力を尽くしていくことを、お誓いいたします」と述べた。

坂井国家公安委員会委員長の追悼の辞の後、7月の記録的大雨で住民救助に向かい殉職した山形県警察の玉谷俊太郎部補（2階級特進）の父、壮一さんが遺族を代表し、「警察官として県民の方々の安全と安心のために寄り添い、信念を持って職務に励んでいたこと、家族を愛し、友人、仲間を思い続けていたことを誇りに思います」と、追悼のことばを述べた。その後、参列者が献花した。最後に田中警察協会会長が挨拶し、閉会した。

Member's Lounge 機動隊員等を励ます会 12月の朝食講演会

欧州最大の経済大国であり、環境問題にも積極的に取り組んでいるイメージのあるドイツだが、ドイツ国内ではどう捉えられているのか。今回はドイツでの暮らしの長い作家、川口マーン恵美さんに、ドイツのエネルギー政策と難民問題をテーマにご講演いただいた。

ドイツの抱える2つの失敗 「エネルギー」と「難民」



〈12月19日のゲスト〉
かわぐち えみ
川口マーン恵美氏
作家

プロフィール

1956年 大阪府生まれ
経歴
日本大学芸術学部音楽学科卒業。

1982年退社。

1985年、独シュトゥットガルト国立音楽大学大学院ピアノ科卒業。現在、独ライブティビ在住。

1990年、「フセイン独裁下のイラクで暮らして」（専思社）を上梓以来、多くの著書を出版。ウェブマガジン「現代ビジネス」や「プレジデントオンライン」、「アゴラ言論プラットフォーム」などでも最新ドイツ情報を随時発信中。

著書

「ドレステン退還」（専思社、2005年）
「膨張するドイツの衝撃」（西尾幹二氏との共著、ビジネス社、2015年）
「住んでみたドイツ 8勝2敗で日本の勝ち」（講談社＋α新書、2013年）
「住んでみたヨーロッパ 9勝1敗で日本の勝ち」（講談社＋α新書、2014年）
「ドイツの脱原発がよくわかる本」（専思社、2015年）
※第36回エネルギーフォーラム賞・普及啓発賞受賞
「復興の日本人論 誰も書けなかった福島」（グッドブックス、2017年） ※第38回エネルギーフォーラム賞・特別賞受賞（ほか多数）

1. シュレーダー首相が打ち出したゆるやかな脱原発日本では、ドイツは素晴らしい国だと思つてらっしゃる方が多いのではないのでしょうか。勉強で、哲学や音楽を生み、法律、軍備、産業をお手本にして日本は歩んできた。そのイメージがあまりにも強く、未だにしっかりと国だろと思うてらっしゃる方が多いと思います。確かに私がドイツに渡った42年前は、鉄道は時間通りに走つたし、ドイツと日本の間の手紙は4日から5日で必ず届きました。しかし今はそうではありません。

ドイツは今、本当に機能しない国になってきています。特にエネルギー政策と難民政策がドイツの足を引っ張っています。これは元をたどると、メルケル前首相に行き着きます。国会を通さずにこの二つのことを決めたのです。

よく脱原発とメルケル氏とが結び付けられますが、最初にドイツで脱原発を打ち出したのは1998年に政権に就いた社民党のシュレーダー首相でした。当時のドイツは言うまでもなく世界の先進産業国であり、多くの原発が動いていました。シュレーダー氏は現実派でしたから、いつまでにその全てを止めるなどとは言わず、一定の発電を終えた原発から順次止めていく方針で、2030年くらいに全部止まれば、というゆるやかなものでした。つまり、最終的には再エネに変えていく。ただ、そのつなぎには石炭ではなくロシアの天然ガスを使うということで、ロシアから海底の直結パイプラインを引くプロジェクトを立ち上げました。

2. 東西統一からの構造改革当時、ドイツ経済はボロボロでした。1990年の東西ドイツの統一を国民は涙を流して祝いましたが、東ドイツの復興は思ったよりも大変で、西ドイツまでが不況の淵に沈み込みました。東ドイツは空気も土壌も汚染され、インフラも工場も老朽化していました。統一後、それらを立て直すために西のお金がつぎ込まれ、さらには、掛け金を納めていなかった人たちの医療保険や年金も支払ったのです。当然、西の人たちはお荷物を抱え込んだと思ひ込み、東の人たちは自分達がお荷物だと思われていることに気づき、国内の雰囲気もあつていう間に険悪になりました。

一方、そのドイツを立て直すところ、いつまでにその全てを止めるなどとは言わず、一定の発電を終えた原発から順次止めていく方針で、2030年くらいに全部止まれば、というゆるやかなものでした。つまり、最終的には再エネに変えていく。ただ、そのつなぎには石炭ではなくロシアの天然ガスを使うということで、ロシアから海底の直結パイプラインを引くプロジェクトを立ち上げました。

と、シュレーダー首相は「アジェンダ2010」と呼ばれる大々的な構造改革に着手しました。ただ、構造改革は痛みを伴いますから、2005年、人気を失ったシュレーダー氏は総選挙で敗れ、政権はCDU（注1）のメルケル氏に移りました。

ちなみに、シュレーダー氏の構造改革を批判して選挙に勝ったメルケル氏でしたが、政権を引き継いでしばらく経つと、それが効果を表し始め、11年には海底パイプラインも完成し、ドイツの景気は一気に好転します。以後、「EUの病人」とまで言われていたドイツが、EUの一人勝ちへと目眩く変貌を遂げたのです。

こうしてメルケル政権の16年間、政府は中国との蜜月を築き、華やかな製造業に注力しましたが、道路や鉄道、学校やデジタル化といった国内への投資を怠り続けました。それが、現在、ドイツでも機能しなくなっている大きな原因の一つでしょう。メルケル政権のもう一つの特徴は、CDUという保守の党でありながら、一貫して左翼的な政策ばかりを行ってきたことです。その後、2002年に立つた社

民党政権は、ドイツを左傾化させたメルケル氏の置き土産です。ただ、緑の党、自民党と組んだこの3党連立政権は非常に折り合いが悪く、24年11月に自民党が離脱。現在は社民党と緑の党だけの少数与党となっています。いうまでもなく問題は山積み、政治の破綻ぶりは誰の目にも明らかです。

3. 高騰する電気代と産業への影響ドイツの危急の問題は電力で、逼迫と価格高騰が続いています。政府は全てブリンチ氏のせいにしたがりますが、それは違う。完全にホームメイドの問題です。原発事故が起きた当時、ドイツには原発が17機ありましたが、21年末には3機。しかも、CO2を排出するからという理由で石炭火力も減らしています。その代わり、増やしているのが再生可能エネルギー。しかしドイツでは太陽光は当てにならず、頼りにしていた風力の方も、21年、22年と風が少なく、電力が逼迫する事態に陥り、当然、価格も高騰しました。

その後、ウクライナ戦争が始まると冬の電力が懸念され、当初、政府は、シャワーを浴びる時間を短縮せよとまで言いました。そのため、原発嫌いのドイツ人も、流石に今、順調に動いている原発を止めるのはやめるべきだという声が挙がりました。しかし、政府は稼働をたつた3ヶ月半伸ばしただけで、2023年4月に残っていた3機を全て停止したのです。

（P4へつづく）

-- 今月の賛助広告会員 --

東海鋼材工業(株)
光洋商事(株)
日鉄物流(株)
日鉄エンジニアリング(株)
北越メタル(株)
山陽特殊製鋼(株)

(P3からつづ)

ドイツには再エネの発電施設はたくさんあっても、お天気任せなので、電気はたいいてい余るか足りないかのどちらかです。その供給の不安定が災いし、ドイツの電力市場では、昔は1メガワットアワーあたり40〜60ユーロだったスポット価格が、1000〜1500ユーロと高止まりしています。

ヨーロッパには、冬の間、必ず全く風の吹かない時期があり、もちろんこの時期は太陽もほとんど出ない。以前のドイツなら、原発や石炭火力を立ち上げて難なく凌いでいたが、今では原発はなく、石炭火力も縮小、ウクライナ戦争のせいでガスも不足していますから、風になると輸入するしか無くなってしまいました。

ヨーロッパでは電力統合が進んでおり、網の目のように張り巡らされた送電線を通じて、常に電気の売買が行われています。ただ、発電量が細ると、当然、電気は奪い合いとなります。

11月初めの風の時にはドイツが電気を買い漁ったため、6日午後、一時的にスポット価格は820ユーロにまで跳ね上がりました。これでは産業はとうていやっていけません。

これは他国の電力市場にも影響を及ぼし、特に、ノルウェーやスウェーデンの市場値段が激しく荒らされました。12月の半ばにはスポット価格が普段の200倍にもなり、両国のエネルギー大臣が激怒しました。

他の国にしてみれば、ドイツは快調に動いていた原発をわざわざ止め、最新のハイテク石炭火力まで強引に減らしているのですから、電力不足は自業自得です。それなのに、金に糸目をつけず電気を買い漁り、他国の需給バランスまで乱すのは許せない。当然の話です。現在のドイツは、産業の基盤となる電気の安定供給が保証されて

おらず、大企業が先を争うように国外に逃避、ドイツに対する投資は大幅に落ちています。最近一番ショッキングだったのは何と言ってもフォルクスワーゲン。国内工場を3つ閉鎖し、2万3千人を解雇すると発表しました。ドイツ人は動揺し、大騒ぎになっていますが、他にも数え上げればキリがありません。

4.メルケル氏による難民受け入れ 次に難民。もともとEUにはダブリン協定があり、難民は最初に足をつけたEUの国で、難民申請をしなければならず、その国が責任を持って審査をして難民であるかどうかを決めます。申請は一度きりで、また、難民は勝手に違う国に移動してはいけないなどということが決められています。

地中海を渡ってヨーロッパに入ってくる難民は、以前よりいましがた、トルコまで陸路で来た人たちが、トルコからボートに乗って、目と鼻の先のギリシャの島に着く。天気さえ良ければ普通のボートでもたどり着けるくらいの距離です。それらの島にたどり着いた難民は本土に移送され、その後、ギリシャ当局の目を掠めてバルカン半島を北上。次に到達したEU国がハンガリーでした。

当時、ハンガリーに到達した中東難民は、さらにドイツやスウェーデンに進みたかったので、ハンガリーで登録されないう逃げ回りました。そして、ハンガリーのブダペスト駅で、ドイツ行きの電車で乗せろと大騒ぎになっていました。

2015年9月、それを見たメルケル首相が突然、その難民をドイツで引き取ると言ったため、EU各国の首脳は驚愕し、慌てて自国の国境を開きました。その結果、毎日何万人という人たちが電車でミュンヘンに着き、駅に詰めかけた市民が彼らを「ようこそ」と歓迎しまし

た。日本でもこれを、素晴らしいことのように報道していました。

しかし、ドイツは受け入れた難民をコントロールできず、まもなく、どこかの誰が何人入って、どこにいるかがわからなくなりました。その後、ヨーロッパ各地でテロ事件が起こるようになったのです。慌てたメルケル首相がトルコと交渉し、EUがトルコにお金を払う代わりに、トルコは、難民が海に漕ぎ出さないよう監視するという取引が成立しました。

しかし、難民は自力で海に漕ぎ出すわけではなく、裏には、密航の補助をする犯罪グループがいるわけです。彼らはトルコがダメならリビア、リビアがダメならアルジェリアと、情報を駆使して抜け道を探します。しかも、そのうち、国際NGOの大きな船が、難民船が公海上に出るとすぐに「遭難者」を救助し、イタリアに運んでくれるようになります。中にはランペドゥーザ島のように、住民を超え数人の難民が上陸し、二進も三進もいかななくなってしまう島もありました。ただ、現在のメロニー首相は、厳しい難民政策を目指しています。

なお、ドイツにはすでに120万人のウクライナ難民も入っています。女性や子どもが多く、キリスト教文化の国なので、今までのアラブ難民よりも統合が容易で、犯罪の危険も少なく、さらに介護などの労働力としても期待されていますが、どうなることやら。

5. 国内の治安悪化

イスラエルとハマスの抗争が始まったのが23年10月でした。ドイツでは、ホロコーストの反省があるため、イスラエルを全面的に支援するというのが政府の公式の態度です。ただ、ガザで女性や子どもが多く犠牲になり、餓死者が出るなどといったニュースが入ってくる

ると、国民の感情は複雑になります。しかも、ドイツにはすでにたくさんさんのアラブ人が住んでおり、彼らは当然、ガザを支援しています。時に、ガザ支援の合法デモがエスカレートして、参加者がハマス支援や、さらにはイスラム帝国の復活を叫ぶことさえ何度かありました。もちろん、これらは違法です。

ドイツには、比較的新参であるシリア人が100万人、以前からいるトルコ系の人が300万人近くいます。全員がイスラム教徒ではないにせよ、アラブ系はすでにものすごくたくさん入っています。ドイツ政府としても、下手に彼らを押さえつけて、テロでも起こさずには困るし、かといってユダヤ人擁護の態度を崩す訳にはいかないし、微妙な問題になっています。

外国人の増加は、犯罪の増加にもつながっており、ドイツ国内では、特に今、ナイフによる犯罪が増えています。中東や北アフリカ、バルカン半島の男性は、護身用か、男性の象徴なのか、ナイフを持っていることが多い。それがいざという時に武器として使われるのです。私が渡った頃のドイツは安全な国で、夜道で怖いと思ったことはありませんでした。しかし、今ではその私も、夜道を一人で歩くのは怖い。この頃は、男性でさえ用心しています。

2024年6月には、マンハイムで集会の準備をしていた右派の活動家が、若いアフガニスタン移民が襲撃し、止めに入った警官が刺殺されました。この事件によって、難民は全員入れる方針の緑の党や社民党が政策を転換するかと思いきや、結局は何も変わっていません。

彼らが難民の受け入れを無制限に進める理由は、人権という観点とはあまり関係ないように、私には思えます。彼らの理想は、ヨーロッパが「人種のるつぼ」のようになることなのではないでしょうか。

いずれにしても、ドイツの治安が悪くなっているのは確かです。

講演後質疑応答

ドイツの現実を受けて、ある種の揺り戻しとして極右政党が台頭していると理解しています。この状況でメルケル首相以降、政策の路線が転換される見通しはありますか？

A ドイツのための選択派(AFD)という政党があります。2013年にEUの金融政策に反対する経済学者が作った党ですが、2015年に難民が入ってきたときに、メルケル首相の難民よこそ政策を批判し、それが国民の琴線に触れました。国境の防衛は主権国家の義務であり、国境の開放など主権放棄に等しい。本当に困っている人だけを庇護すべきだという意見は妥当なものでした。ところが、政治家とメディアはそれを人種差別だと批判し、AFDに極右やナチのレッテルを貼りました。全くの濡れ衣です。

ドイツの政界は、メルケル時代に大きく左に寄っており、かつてCDUがいた場所に空洞ができたため、そこにAFDが入ったに過ぎません。かつての保守層が、当然、そのAFDを支持しました。つまり、極右政党が出てきたのではなく、今、AFD以外に保守がないのです。そのAFDを恐れているのが、既成の全政党です。だからこそ、極右だと言いがかりをつけ、何が何でも排除するつもりで、メディアもそれに与しています。ただ、国民の多くはAFDを評価しており、今年9月に行われた旧東ドイツの三つの州での州議会選挙では、いずれもAFDが第1党か第2党になりました。しかし、他政党はそれを認めず、AFDも、そしてAFDを選んだ有権者も、どちらも反民主主義者として排除しようとしています。これが民主主義でしょうか。ただ、現実問題として、議席の3分の1を取った政党を排除し、他の党で連立政権を組もうとしても残っているのは緑の党や左派党、BSW(注2)など左翼ばかり。CDUが、いくら左傾したからといえ、過半数確保のために左翼と連立したければ、もう主張も思想も何もありません。いずれにせよ、今のドイツでは、言論の自由がほとんど狭まっており、だんだん昔の東ドイツと同じく、全体主義に近づいているように感じます。2月23日に総選挙がありますが、それがどうなるか、AFDは禁止されるのか、ぜひ注目したいものです。

注1 CDU・ドイツキリスト教民主同盟
注2 BSW・シリア・ワグゲンネヒト同盟

訂正とお詫
前号P58上の1頁目下段に掲載した「はげまし」振りが2024年の主として「トビックス」の内容に誤りがありましたので、次の通り訂正し、お詫申し上げます。
●1頁目の1行目
(誤) 警視庁機動隊対抗WV
(正) レスキュー間投大会観覧
(誤) 警視庁機動隊対抗
(正) レスキュー間投大会観覧

編集後記
ロシアのウクライナ侵攻は3年目となり、中東情勢も予断を許さず、期待と重苦しさが入り交錯する2025年が始動しました。戦闘と分断のない世界の訪れを切に願います。
(励ます会事務局)

今月の賛助広告会員
新ケミカル商事(株)
三榮商會
自見産業(株)
宮崎精鋼(株)
新潟鋼機(株)
芝本産業(株)
(一社)機動隊員等を励ます会
東北支部